

伊勢ぶんかネット第75号をお送りします。

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から掲載事業が延期・中止等になる場合があります◆

1. 文化振興課が郷土資料コーナーの企画展を再開しました。

しばらくの間、土器大解剖展2「経筒と瓦経」の展示を休止していましたが再開しました。

○開催期間：令和2年7月3日（金）まで9：00～17：00 ※土日祝除く、期間は変更になる場合あり

○開催場所：小俣総合支所1階 郷土資料コーナー

○お問合せ：伊勢市教育委員会事務局 文化振興課 TEL=0596-22-7884・FAX=0596-23-8641

2. 市ホームページで「おうち企画展」を更新しています。

子どもたち向けに、お気軽に企画展を楽しめる「おうち企画展」を市ホームページ

(<https://www.city.ise.mie.jp/kyouiku/culture/gyouji/kikakuten/1009412/index.html>) で更新しています。

昔の道具を第一弾「食べる」に引き続き、現在第五弾まで公開していますので、ぜひご覧ください。

<掲載内容紹介（一部）>

○第二弾「洗たく」：自動ではなく手回し式の「洗濯機」、炭火の熱を利用した「炭火アイロン」など

○第三弾「聞く」：レコードの音楽を楽しむ「蓄音機」、交換手につないで通話する「磁石式電話機」など

○第四弾「遊ぶ」：札を取り合って遊ぶ「メンコ」、振って音を鳴らす「でんでん太鼓」など

○第五弾「お店」：江戸時代の商家のレジ「銭箱」、日本最古の紙幣「山田羽書（やまだはがき）」など

3. 市内の案内板を新しく英訳しました。

文化振興課では伊勢市の文化や歴史を海外の方などにも広く知っていただくため、市内に設置している史跡等案内板の文面の英訳を進めています。英訳は案内板に設置したQRコードや、市ホームページ

(https://www.city.ise.mie.jp/kyouiku/culture/bunkazai_shiseki/scenic/index.html) から閲覧することができます。今回は、令和元年度に新しく英訳した3件の案内板の所在地と内容を簡単に紹介します。

○太田小三郎（おたこさぶろう） ※案内板も新設

江戸時代末期に生まれ、古市の妓楼「備前屋」の主人となった後、神宮神苑の整備や賓日館、徴古館・農業館の建設などを行った人物です。また、鉄道の敷設や銀行の創立などにも取り組み、伊勢の町の近代化に大きく貢献しました。

【所在地】伊勢市楠部町地内（太田小三郎君紀功碑前）※市立伊勢総合病院に面した御幸道路沿いの広場内

○高向区 御頭神事（たかぶくく おかしらじんじ）<国指定重要無形民俗文化財>

平安時代末期に人々が悪天候や疫病に苦しんでいたころ、それらを祓い清めるために郷内を巡って舞を踊ったことが起源とされています。ふくめもの（各戸を回り厄を祓う）など、伝統ある行事を現在まで継承しています。

【所在地】伊勢市御園町高向 高向大社前（高向公会所前から移設）

○金剛證寺 極楽橋（こんごうしょうじ ごくらくばし）<市指定有形文化財>

橋は全長3.75m×全幅2.75mで、花崗岩（かこうがん）の延石が使われています。安土桃山時代～江戸時代初期に下里信種（しもぎとのぶたね）により作られたとされており、この時代の石橋は全国的にも少なく貴重なものです。

【所在地】伊勢市朝熊町 朝熊山金剛證寺旧参道

【イベント情報募集】

「伊勢ぶんかネット」では登録団体からのイベント等の情報を募集しています。

広く周知していきたく思いますので、次の方法で情報提供していただきますようお願いいたします。

○基本事項（イベント名、とき、ところ、入場料、内容、連絡先等）のわかる資料を

0596-23-8641 または kyo-bunka@city.ise.mie.jp へお送りください。

伊勢ぶんかネットに関するお問合せは、

伊勢市教育委員会事務局文化振興課（TEL＝0596-22-7885 FAX＝0596-23-8641）へご連絡ください。